

各 位

株式会社 東北銀行

「大槌復光社協同組合」への協調融資について

～復興の先を見据えた取組を、地域の基幹産業に（サーモン稚魚養殖業）～

株式会社東北銀行（取締役頭取 佐藤 健志）は、日本政策金融公庫盛岡支店農林水産事業（以下、「日本公庫」という。）とともに、岩手県上閉伊郡大槌町の「大槌復光社協同組合（代表理事 天満 昭広）」に対し、第二養魚場建設資金を協調融資にて支援いたしましたので、お知らせします。

大槌復光社協同組合は、平成25年に東日本大震災からの復興事業を円滑に進めるために、町内の建設業者等が主体となって設立し、長年、町内の復興工事業に携わってきました。近年は復興工事が落ち着きを見せ始める中で、人口減少や高齢化が進む大槌町を盛り上げるための新たな産業創出を目指して、令和元年よりサーモン稚魚の養殖業に参入しております。

岩手県は世界三大漁場である「三陸沖」と、複雑に入り組んだ海岸線を形成する「リアス式海岸」の恵みを受け、かねてから漁業が盛んですが、近年では、海洋環境の変化により、あきさけやタラといった県を代表する海産物の不漁が続き、特にあきさけは最盛期の0.2%まで水揚げが落ち込んでおります。

これらの環境変化を背景に、県内沿岸地域ではこれまでの「獲る」漁業から「育てる」漁業へと、転換機運が高まっており、新たにサーモンの海面養殖施設が増設されるなど、特に養殖サーモンの生産量は年々増加傾向にあります。

これまで、地域の中心的存在として、サーモン稚魚の生産に取り組んでいた当社においても、海面養殖場の増加に伴い高まっていた稚魚増産の要望を受け、生産能力を従来の2倍に拡大するべく、今般、第二養魚場の建設に着手しました。

本件に対して、当行と日本公庫は経営発展に欠かせない投資であることや、事業の安定化、並びに当社の更なる地域養殖産業への貢献が期待されるものと評価し、連携による支援を実施いたしました。

当行及び日本公庫は、今後も相互に連携し地域経済の活性化促進に努めるとともに、事業意欲のある一次産業者の皆様への総合的な支援を推進してまいります。

記

融資先の概要

企 業 名	大槌復光社協同組合
代 表 者	天満 昭広
所 在 地	岩手県上閉伊郡大槌町第22地割字下野216番地
事 業 内 容	内水面養殖業（サーモン稚魚・淡水成魚の養殖）他

◆第一養魚場にて養殖されるサーモンの様子



◆毎年6月初旬に開催される大槌サーモン祭りの様子

令和7年は6月8日に開催され、大槌町の人口約1万1千人を上回る1万5千人あまりが来場。当社のブランドサーモン「桃畑学園サーモン (※)」のつかみ取りなどが行われ、賑わいを見せていた。



桃畑学園サーモン

分類:サケ科サケ属
学名:Oncorhynchus kisutch
和名:ギンザケ
英名:Silver salmon

出荷サイズ
約2.0~3.5kg

大槌川育ちの桃畑学園サーモン。

桃畑学園サーモンは大槌川(淡水)で飼育しています。飼育期間は約1年半~2年で、出荷時期は6月~12月の6ヶ月間です。別荘でもいただけますが、適度な脂のりと淡白な味を生かして、ひと手間加えた料理が特におすすめ。時期によっては塩引き鮭や、いくら加工にも適しています。

岩手大槌サーモンは大槌川上流部の桃畑地区にある養魚場で飼育され、毎年11月上旬に吉里吉里沖のいけすへと旅立ちますが、海に行かずそのまま桃畑で育てられているギンザケが桃畑学園サーモンです。

飼育過程を学園に見立て、大槌で育った子供たちがやがて旅立つ姿になぞらえ「桃畑学園サーモン」と名付けました。

出荷時期
6~12月

桃畑学園サーモンのおすすめレシピ

カルパッチョ

香草パン粉焼き

※出荷サイズ・出荷時期は変動あり



(※) 桃畑学園サーモン…岩手県大槌町の桃畑地区の養魚場で一度も海に行かずに淡水で養殖されるギンザケの一種。2021年に誕生したブランドサーモンで、東日本大震災からの復興を目的として、大槌復光社協同組合が稚魚の飼育を開始。脂が少なくさっぱりした味わいの特徴で、生食も可能。

【本件に関する日本公庫のご照会先】

日本政策金融公庫盛岡支店 農林水産事業 Tel.019-653-5121 (担当: 野本)

以上